

取扱説明書

IRINO

301596

FBH-603BGPL

自動シャッター一部
AD-4405A

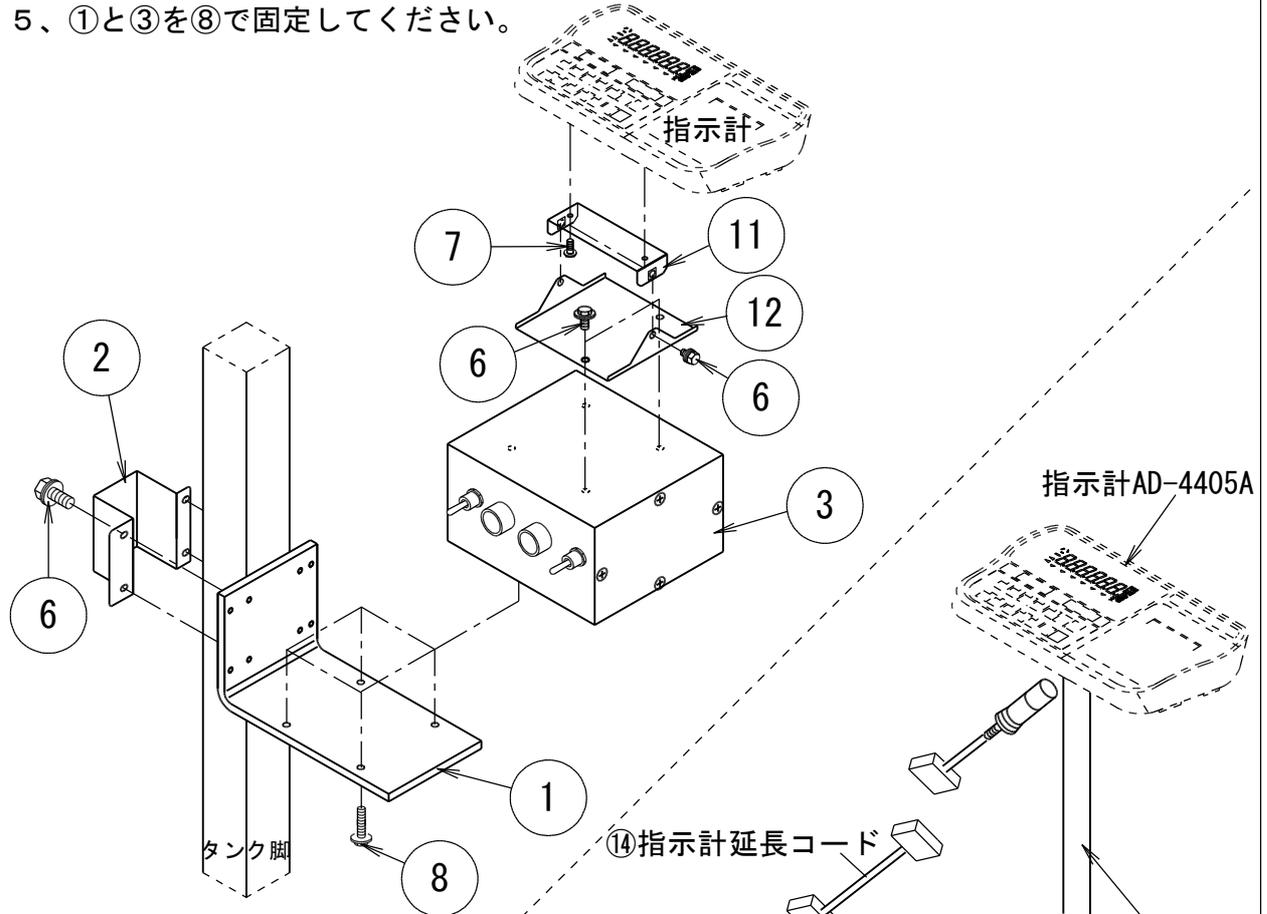


操作ボックス取付方法 (自動シャッター)

AD-4405A

操作ボックスの取り付け方

- 1、タンク脚に①と②を⑥で取り付けてください。
- 2、③と⑫を⑥で取り付けてください。
- 3、指示計と⑪を⑦で取り付けてください。
- 4、2)と3)で組み合わせたものを⑥で取り付けてください。
- 5、①と③を⑧で固定してください。

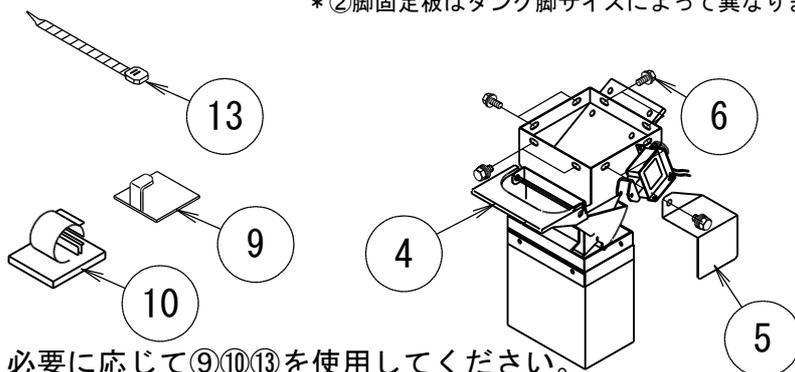


計量シャッターの取り付け方

- 1、⑥を使用してタンクジョーゴ出口部分に④を取り付けてください。

* ⑤は④横面のソレノイドカバーに使用してください。

* ②脚固定板はタンク脚サイズによって異なります



* 必要に応じて⑨⑩⑬を使用してください。

* 指示計を別売リスタンドに固定する場合は指示計延長コードを使用してください。

指示計スタンド (別売り)

①	操作ボックス固定板	1
②	脚固定板	1
③	操作ボックス	1
④	計量シャッター	1
⑤	ソレノイドカバー	1
⑥	M6×16P3ボルト	18
⑦	M4×6P3ボルト	2
⑧	M6×20P3ボルト	4
⑨	ハイステッカー	5
⑩	NKクランプ	5
⑪	指示計止金具00	1
⑫	指示計止金具01	1
⑬	インシュロック	10
⑭	指示計延長コード	1

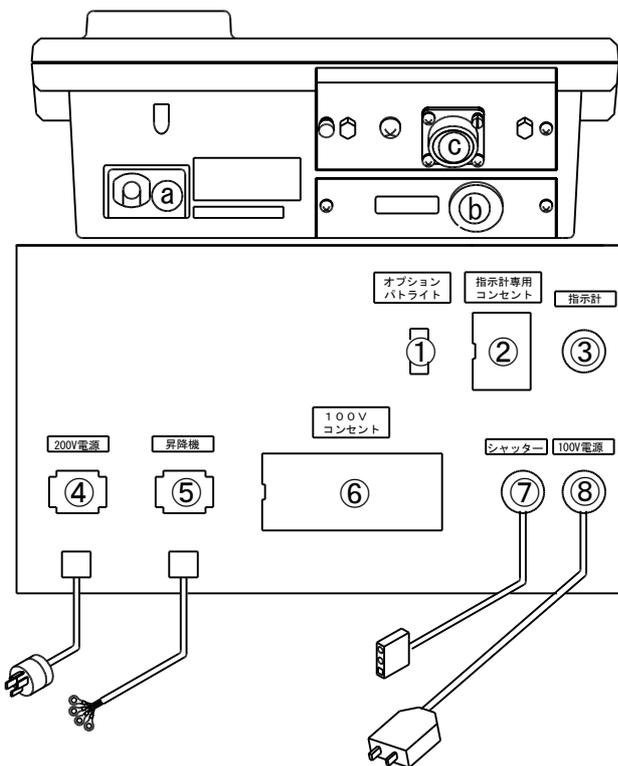
操作ボックス配線方法(自動シャッター)

AD-4405A

配線方法と各部の名称

1、各種配線を行ってください。

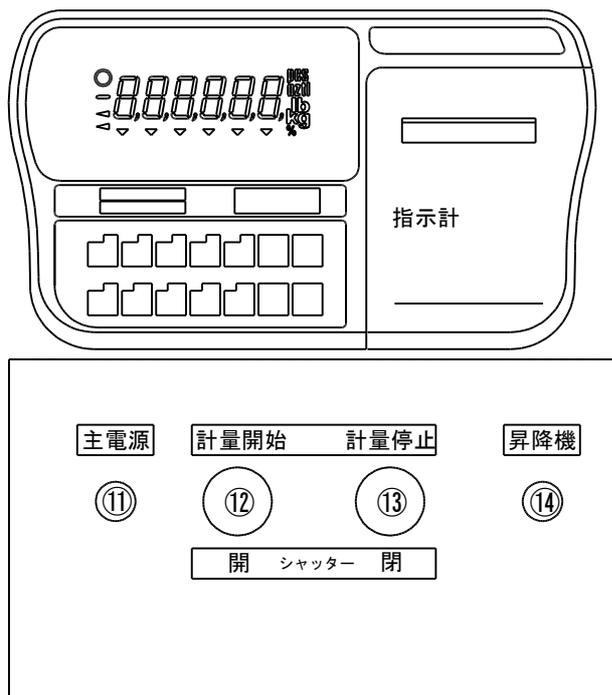
操作ボックス背面



⑧	電源ソケット AC100Vを供給してください
⑦	外部コネクタ ③のコネクタを接続してください
⑥	ロードセルコネクタ 台秤の配線(ロードセル線)を接続してください

①	オプションパトライトコネクタ パトライトのコネクタを接続してください
②	指示計専用コンセント 指示計の電源ケーブルを接続してください
③	指示計コード 指示計のコネクタ ⑥ に接続してください
④	200V電源コネクタ オプションの200V電源ケーブルを接続してください
⑤	昇降機コネクタ オプションの昇降機コードを接続してください
⑥	100Vコンセント サンプラーや30Kg秤の100V電源として利用してください
⑦	シャッターコード 計量シャッターへ接続してください
⑧	100V電源コード 100V電源を供給してください

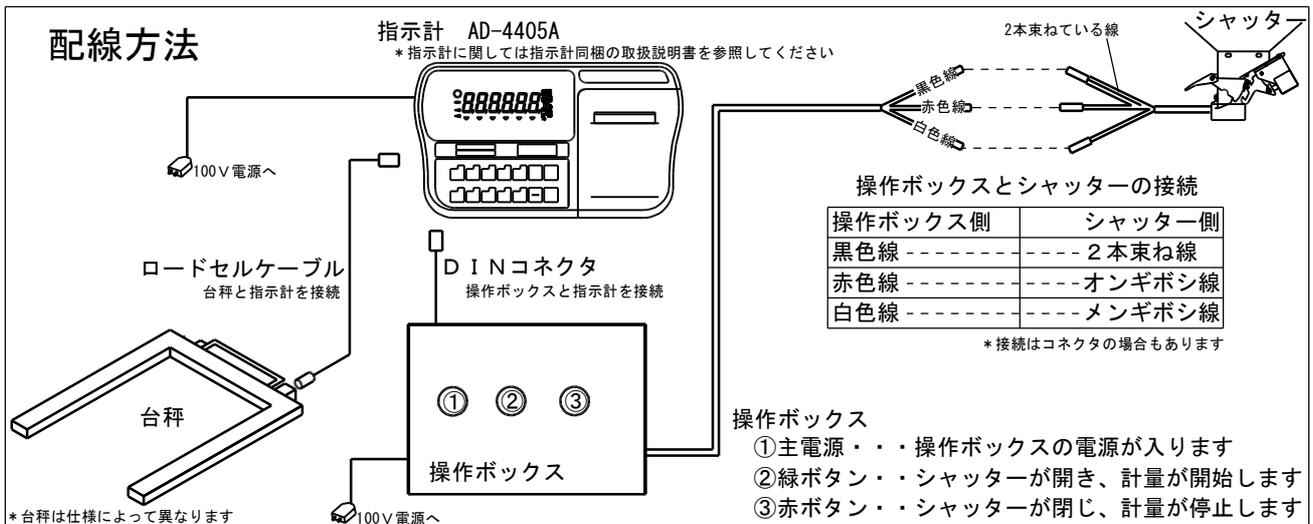
操作ボックス前面



⑪	主電源OnOffスイッチ 操作ボックス、指示計のオン/オフを行います
⑫	緑ボタン 計量シャッターが開き、計量を開始します 定量後の継ぎ足し投入は3秒間長押しでシャッターが開きます
⑬	赤ボタン 計量シャッターが閉じ、計量を停止します
⑭	昇降機OnOffスイッチ 昇降機のオン/オフを行います

配線方法、設定方法

AD-4405A



注意 作業前に下記設定を行ってください。それ以外の設定項目を変更しないでください。誤作動の原因になります。一度設定をすると電源をOFFにしても設定は保存されています。

ファンクション設定変更（初期値の設定変更をしてください）

- 1) **F01** **0** (F01の初期値は「1」です。「0」に変更してください。)
- 2) **F22** **8** (F22の初期値は「0」です。「8」に変更してください。)

設定方法 この設定を行わないとシャッターが正常に作動しません。

- キースイッチ
-
- ① **プリント** キーを押す (電源ON)
 - ② **正味総重量** **プリント** キーを同時押し **F00**
 - ③ **モード** **コード** キーを順番に押しして値をF01に変更 **F01**
 - ④ **プリント** キーを押す **F01** **1**
 - ⑤ **モード** キーを押して値を0に変更 **F01** **0** (・・・1)
 - ⑥ **プリント** キーを押す **F02**
 - ⑦ **サンプル** **サンプル** キーを順番に押しして値をF22に変更 **F22**
 - ⑧ **プリント** キーを押す **F22** **0**
 - ⑨ **ストップ** キーを押して値を8に変更 **F22** **8** (・・・2)
 - ⑩ **プリント** キーを押す **F23**
 - ⑪ **風袋** キーを押す (設定完了)
- *途中で入力を間違えた場合は **プリント** キーを長押しして電源をOFFにして最初から入力をやり直してください。

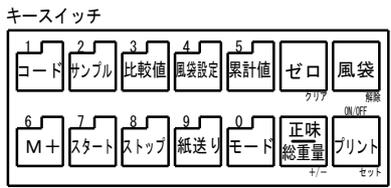
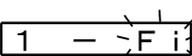
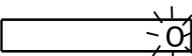
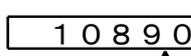
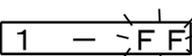
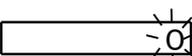
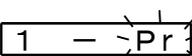
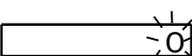
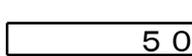
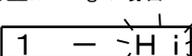
設定方法、作業方法

AD-4405A

定量 (Fi) と定量前 (Pr) の設定

- 1) 定量 (Fi)・・・出荷重量を設定してください。
- 2) 定量前 (Pr)・・・大投入から小投入に切り替わる重量です。定量に対して何kg前で切り替えるかの設定です。
(通常は5kgで設定してください)

設定方法 例：定量(Fi) 1089.0kg 定量前(Pr) 5.0kgの場合

- 
- ①  キーを押す (電源ON)
- ②  キーを押す 
- ③  キーを押す 
- ④      キーを順番に押して値を1089.0に変更 ・・・1) 定量
 注意：設定値の小数点は表示されません。
 目量が0.5kgの場合・・・1089.0と設定する場合は10890と入力してください。
 目量が1kgの場合・・・1089と設定する場合は1089と入力してください。
- ⑤  キーを押す 
- ⑥  キーを押す  注意：設定値は0です。変更しないでください。
- ⑦  キーを押す 
- ⑧  キーを押す 
- ⑨   キーを順番に押して値を5.0に変更 ・・・2) 定量前 (固定値)
 注意：設定値の小数点は表示されません。
 目量が0.5kgの場合・・・5.0と設定する場合は50と入力してください。
 目量が1kgの場合・・・5と設定する場合は5と入力してください。
- ⑩  キーを押す 
- ⑪  キーを押す (設定完了)
- *途中で入力を間違えた場合は  キーを長押しして電源をOFFにして最初から入力をやり直してください。

作業方法

- 1) 台秤にパレットを載せ、フレコンバッグホルダーにフレコンバッグを取り付けてください。
- 2) 指示計の  キーを押してください。
→指示計の表示が「0」になります。
- 3) 操作ボックスの緑ボタンを押してください。
→シャッターが開き、計量が始まります。
- 4) 計量を途中で一時停止させたい場合は、操作ボックスの赤ボタンを押してください。
→シャッターが閉じ、計量が停止します。計量を再開する時は緑ボタンを押してください。
- 5) 定量の5kg前でシャッターが大投入から小投入に切り替わります。
- 6) 定量になったら自動でシャッターが閉じ、計量が完了します。
- 7) フレコンバッグホルダーからフレコンバッグの吊り下げ金具を取り外してください。
- 8) パレットごとフレコンバッグを取り出してください。
- 9) 再度計量を行なう場合は 1) から作業を繰り返してください。

プリンタ設定方法 (プリンタ内蔵の場合)

AD-4405A

印字方法

 キーを押すと指示計に表示されている重量が印刷されます。



(初期値での印字)

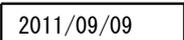
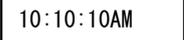
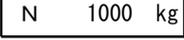
* 重量の前のアルファベットG、Nは下記を意味します。
G・・・総重量 N・・・正味重量

ファンクション設定変更 (印字内容を自由に変更することができます)

 (F70の設定により日付、時刻などを印字することができます)

設定方法 下記印字例は一例です。詳細は指示計同梱の取扱説明書を参照してください。

印字例

 日付の印字
 時刻の印字
 表示値の印字

F70設定

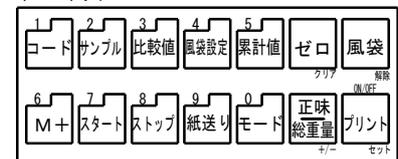
0	1	5	0 1)
0	2	6	0 2)
	0	3	0	 3)

「E」は最終データを示します

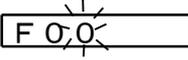
A～Fは  キーを押しながら
該当キーを押す

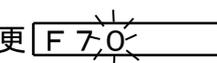
* 日付、時刻の設定は指示計同梱の
取扱説明書を参照してください。

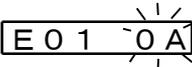
キースイッチ

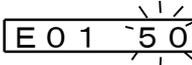


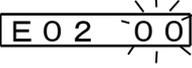
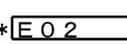
①  キーを押す (電源ON)

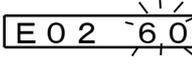
②  キーを同時押し 

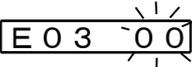
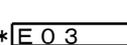
③   キーを順番に押しして値をF70に変更 

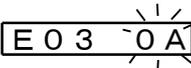
④  キーを押す 

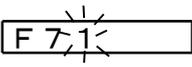
⑤   キーを順番に押しして値を50に変更  1)

⑥  キーを押す  *  にならない場合は  キーを押す

⑦   キーを順番に押しして値を60に変更  2)

⑧  キーを押す  *  にならない場合は  キーを押す

⑨  キーを押す、その後   キーを同時押しして値を0Aに変更  3)

⑩  キーを押す 

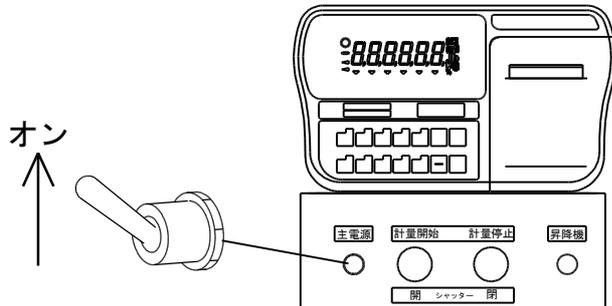
⑪  キーを押す (設定完了)

* 途中で入力を間違えた場合は  キーを長押しして
電源をOFFにして最初から入力をやり直してください。

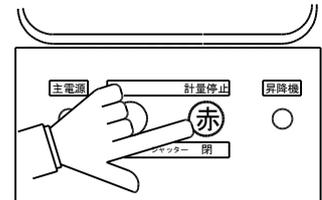
計量方法 (下記図はタンク仕様の場合です)

AD-4405

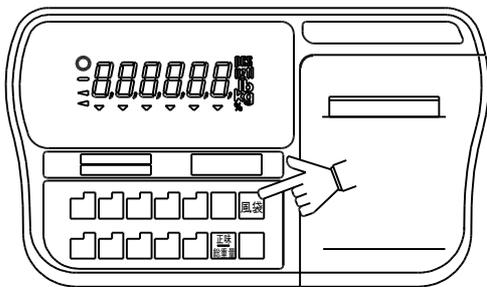
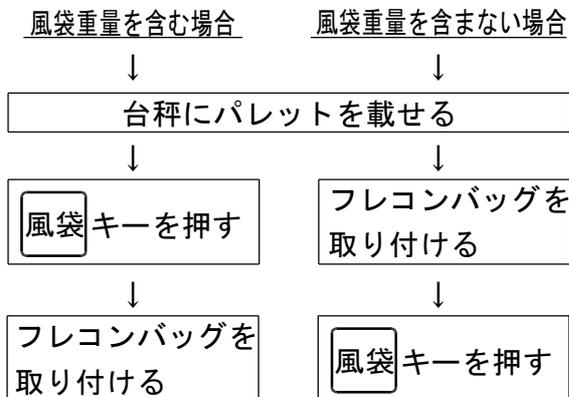
1) 操作ボックスの主電源をオンにしてください。
→指示計の電源が入ります。



4) 計量を途中で一時停止させたい場合は赤ボタンを押してください。
→シャッターが閉じ、計量が停止します。計量を再開するときは 3) を実施してください。



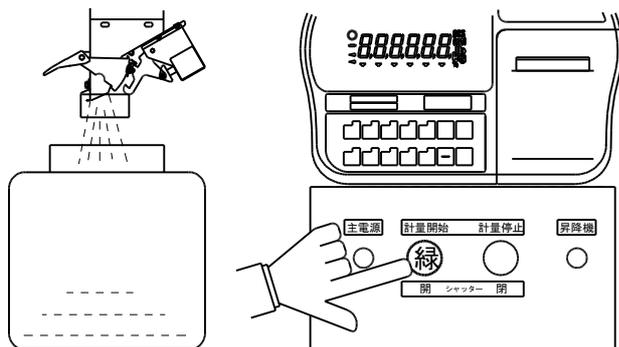
2) 下記の作業順序に注意してください。



* 「0」にならない場合は、総量表示になっています。

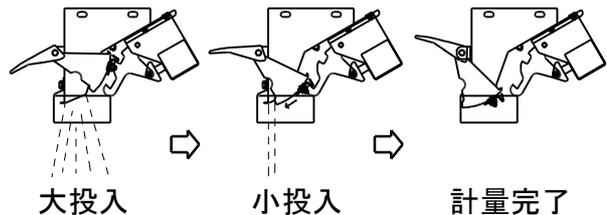
正味 総重量 キーを押して正味表示にしてください。

3) 操作ボックスの緑ボタンを押してください。
→シャッターが開き、計量が開始します。

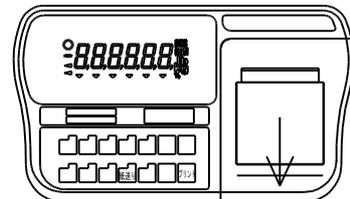


5) 定量の数キロ前でシャッターが大投入から小投入に切り替わります。

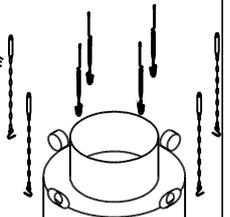
6) 定量になったら自動でシャッターが閉じ計量が完了します。



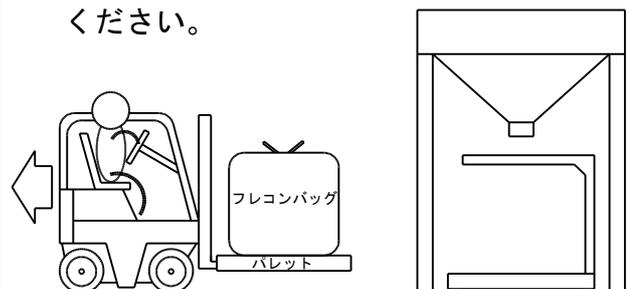
7) 印刷キーを押すと印刷が開始されます。印刷後紙送りキーを押して紙を出してから切り取ってください。



8) フレコンバッグホルダーからフレコンバッグの吊り下げ金具を全て取り外してください。



9) パレットごとフレコンバッグを取り出してください。



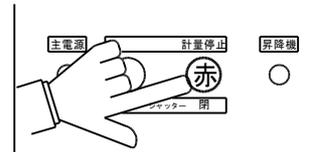
10) 再度計量を行う場合は 2) から作業を繰り返してください。

作業上の注意点

定量付近で台秤上に乗リフレコン内の米を整える場合、以下の点に気を付けて作業を行ってください。

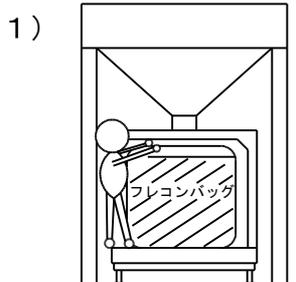
1) 定量付近で台秤上に乗る場合は

→必ず計量を停止して台秤上に乗るようにしてください。
計量を停止しないで人が台秤に乗ると、人の体重で定量に達してしまい誤作動を引き起こすことがあります。

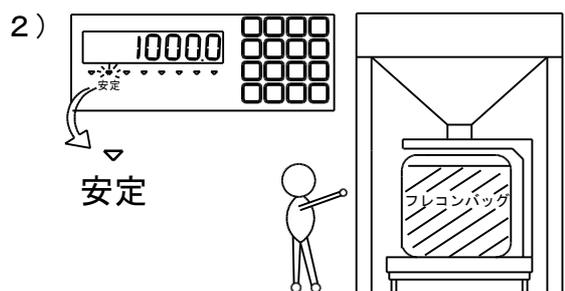


2) 定量付近で計量を再開する場合は

→必ず台秤上から人が降りて、重量値が安定してから計量を再開してください。
人が乗った状態で計量を再開したり、重量が安定していない状態で計量を再開すると、定量値でシャッターが閉まらないことがあります。



→必ず計量を停止して台秤上に乗る



→必ず台秤上から降りる
→重量が安定してから計量を再開する

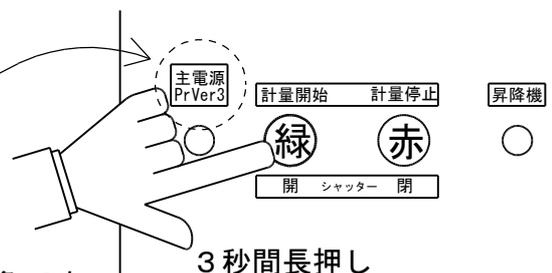
* 計量開始ボタンを押してもシャッターが開かない時・・・

→安全ロック機能が働いています。数秒待ってから計量開始ボタンを押してください。計量シャッターが開き計量が再開されます。

定量後に継ぎ足し投入する場合 (PrVer3のみ)。

定量後に継ぎ足し投入する場合は計量開始ボタンを通常押ししてもシャッターが開きません。

→計量開始ボタンを3秒間長押しすると計量シャッターが開きます。



* 主電源の下にPrVer3と表示しているものが対象です。